

科目名	沖縄方言Ⅱ		英文表記	Okinawan Dialect Ⅱ	平成23年度3月
科目コード	2013				
教員名：又吉 元亮 技術職員名：					作成
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科	2年	選	履修	1単位	講義
目標及び評価方法	目標項目		評価方法及びその割合		
	①・縄方言指導者②琉歌鑑賞 ③芝居の台詞理解 ④沖縄民謡理解⑤方言で自己の意見発表		期末テスト（50％）の他に講義中に発せられる小質問（50％）による評価		
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称
		◎			JABEEプログラム教育目標
授業概要、方針、履修上の注意	①授業概要 イ・方言単語を豊富にする。ロ・方言で話す時の雰囲気を感じ取る。ハ・方言を聞く能力を養う。ニ・大勢の前で話す方言。ホ・禁句の数々。 ②方針 沖縄方言は地域差が大きいので標準的に首里方言に拠る。 ③方言の背景を学ぶ				
教科書・教材	毎回2ページ～4ページのプリントの講師自作テキストを作成して配布する。 (他にも参考図書を探す場合のキーワード：国立国語研究所編 沖縄語辞典)				
授 業 計 画					
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		予 習 項 目
1	方言の形容詞の特徴（1）	2	標準語の形容詞の「しい」という語尾と方言の形容詞の「さん」という語尾など方言の形が著しく異なる		
2	方言の形容詞の特徴（2）	2	同上		
3	方言の形容詞の語尾変化（1）	2	語尾が変化する段階で便宜的に「さん」の変化と「しい」の変化を混同する例を説明する。		
4	方言の形容詞の語尾変化（2）	2	同上		
5	一人称、二人称、三人称代名詞と助詞	2	主格を表す助詞が必要な場合と無用な場合。		
6	話し言葉文（対話）を作成（1）	2	簡単な会話を試み、それを反復可能にする文を作る。		
7	話し言葉文（側聞）を作成（2）	2	うわさ話をする会話を試み反復可能な文にする。		
8	話し言葉文（演説）を作成（1）	2	聴衆に向かって話をする場合を想定して原稿を作る。		
9	挨拶文（対面）を作成（1）	2	日常の挨拶を文にして反復可能にする。		
10	挨拶文（衆人向け）を作成（2）	2	会合などでの挨拶はどうすべきか原稿を作り反復。		
11	敬語の使い方（1）	2	対話の時の敬語はどうすべきか。		
12	敬語の使い方（2）	2	大勢に話しかけるとき敬語はどうすべきか。		
13	琉歌の読み方	2	「琉歌大成」所載の歌の中から読んで読み方を学ぶ。		
14	琉歌の解釈と鑑賞	2	同上に続いて意味と鑑賞の方法を探る。		
15	琉歌女流歌人恩納ナビとユシヤチル	2	恩納ナビとユシヤチルーについて学ぶ。		

前学期期末試験			
学習時間合計	30	実時間	25
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要			

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分=1、100分=2）